

2020年度9月号あさほタイムズ

8月は東京でも気温が37度まであがり、暑い夏でしたね。マスクが欠かせない生活ですので、熱中症予防にも気が抜けませんでした。

9月1日は防災の日。今月は保育園で行っている災害対策について紹介します。お家でも参考にしてください。



 月一回の避難訓練  地震・火事を想定しての避難訓練を行っています。

地震：地震が収まるまでの対応。避難経路・窓ガラスなどの破損の危険箇所への補強。欄など落下・転倒の危険箇所の補強。

火災：避難経路の確認。消火器の場所・消費期限の確認。

出火場所や時間帯を毎月変え、その時の避難経路や天気や季節によつての注意点を職員みんなで確認しています。

職員の中で防災係を作り、防災リュックの中身の検討・防災食作りの段取りなど、毎年、検討しています。

 防災リュックの中身 

防災頭巾・ヘルメット、防災用うわばき(ガラスが突き刺さらないための中敷きを入れる)、おんぶひも、ホイッスル、携帯電話

リュックの中身：着替え、オムツ、ケガの応急処置の為のさらし(おんぶやだっこ紐としても活用可能) 軍手、タオル、救急セット、おしりふき、ビニールシート、非常用ろうそく

 備蓄庫には 

三日分の食事(アルファ米白米、カレー、牛丼、筑前煮、いわしの煮つけ、さつまいもとレモン煮、肉じゃが、さんまの煮つけなど)(アレルギー対応)

水、ミルク、薄力粉、果物缶、クラッカー

年に一回の引き取り訓練 この日の給食はアルファ米やレトルトカレー、果物缶などの非常食です。実際に食べ、味や量を知っておくと実際に食べる時も安心ですね。引き渡しカードを使い、地震が起きた想定での引き取り訓練を保護者と一緒に園全体で行っています。引き取り訓練後に消防の方に来園してもらい、ケガの応急処置や心肺蘇生法、消火器の使い方などを学んでいます。

 子どもの年齢に合わせて

離乳食のレトルト、液体ミルク、おもちゃ、絵本などがあると、避難所でも安心して過ごせますね。その他には貴重品、予備の電池、携帯ラジオ、懐中電灯、医療品や熱源(ガスコンロなど)も準備しましょう。この機会にご家族と防災について、話し合うことをおすすめします。